外国雑誌の流通上における エアー・カーゴ・サービスの現状と役割

The Present Situation and the Role of the Air Cargo Service in the Delivery of Foreign Journals

岩 本 博*

京都大学医学図書館

Abstract: Air Cargo services being started by a group of book agencies around 1965, are handed down to publishers who make use of their ASP (Accelerated Surface Post) and SAL (Surface Post Air Lifted) service systems, and both enjoy thriving business today, mutually supplementing their own service features. The major economic efficiency attained from Air Cargo service though application of Total Cost, etc. makes not only the distribution of journals convenient, but also their transportation far accurate.

はじめに

外国郵便システムと共に外国雑誌(以下、雑誌と称す)の流通上に果たす役割として、主に書店(雑誌、新聞、図書等を輸入する業者を総称する)・出版社の利用するエアー・カーゴ・サービス(以下、ACと称す)が注目されてきている。

ACというと、何か特殊な輸送手段と考えられていた時代は、もう過去のことである。今日では、国内的にも国際的にも、あらかじめ流通機構の中に組み込まれた重要な輸送手段となっている。洋書輸入業界では、既に過当競争の時代に突入。そんな声すら聞かれる。

I. なぜ、ACが利用されるか

1. トータル・コストの考え方の普及

我国の貿易は依然海運が中心であるが、海運と空運を単純に比較してみた場合、最も異なることはスピードと運賃が極端にちがうことである。空運はスピードがはるかに早いかわりに、経費は海運に比べ十倍以上に高い。ところが、今日、進歩的な書店、出版社等では、コスト削減、利益増大、さらに市場競争拡大といった点から、

ACを積極的に利用する、あるいはシステム化する例が増えてきている。すなわち、従来からある経費のみの比較だけではなく、得られる総合的価値から判断するわけで、ドアー・ツウ・ドアーの納入時間、発着の定時制、頻度数から来る利便、あるいはユーザに対するより良いサービスの提供と、より大きなユーザの満足等がその根本要因となって来るわけである。

2. PDM(物的流通管理)の採用

書店、出版社等の目的はユーザにより早く、最新の情報を届けることにあるが、その実は、最大の売り上げ、最高の利潤を得ることにある。そのためには、トータル・コストを最小にすることも必要であるが、それよりも、刊行からユーザへの配達までの物的な流れを、組織的、科学的に管理し、相互に有機的に関連し合うシステムをつくって、より高利潤を得る方法が望まれて来ている。ACの利用によって、最終的に売り上げを伸ばし、利益を上げることが可能であれば、たとえ、トータル・コストが上がっても、物流システムとしては妙味である。

3. ユーザからの要請

科学者の思考はあくなきものである。他のだれよりも早く実験し、その結果をより早く発表することによって、研究の優位性は確保される。そのためにも、より早く、より新しい情報を仕入れる科学者の努力は、当然のことながら、図書館の収書雑誌にまで及び、現実のものとなっている。

* Hiroshi IWAMOTO, Kyoto University, Medical Library, Yoshida, Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan.

現：大阪大学附属図書館中之島分館
(昭和54年5月11日受理)

1973年、第44回日本医学図書館協会総会承合事項によれば、図書館が自からの要請によって、ACを利用してゐる雑誌は、17館、延べ40タイトルにのぼっていて、その大半は、Index Medicus, Chemical Abstracts の様な二次資料、あるいは、BBRC, BBA, Nature, Pro. NAS の様な一部の生化学関係雑誌に集中している。

II. ACを利用することによって得られる主な経済性

1. 欠号未着号の発生が極端に少なくなる

ACは飛行中に航空機の貨物室と外部の接触がないため、輸送中の安全度は海運に比べ、きわめて高い。しかも、運送スピードが早いので、途中寄港も少なく（直航が多い）、紛失の危険性もない。しかも、雑誌は書店・出版社の手により、現地で自からチェック、包装されるため、欠号未着号の発生は、一般の船便による郵送に比べ、はるかに少なくなる利便さをもっている。

2. 包装の簡素化、費用の節減

ACの輸送中の安全性は包装の必要最少限の簡素化を可能にしている。海運における潮かぶりもACにおいては全くなく、そのために、包装の費用、労力、時間を大幅に節減できる利便さをもっている。Pergamon Press の雑誌が薄いビニール袋という簡易包装によって送られて来るのは、その良い例である。

3. 競争力の保持と市場の拡大

海外での規格類の変更、市場の変化等は、特に我国の製造業界に大きな影響を与えるが、ACを利用することにより、すばやく情報を提供すれば、書店は商機を逸することなく、ユーザの確保が可能になる。また、新聞やニュース性の強い一部の雑誌等、長期間の輸送で価値がなくなるものでも、ACを利用して納期を短縮すれば、ユーザの満足もより大きなものとなる。

4. 地上輸送機関の輸送力の減少を補なえる

欠号未着号の主たる発生要因の一つでもあり、日常ひんぱんに発生する港湾ストや郵便スト等も、ACを利用することにより、即、充分に代行が可能である。また、新聞や一部の雑誌のように、時期を失すると価値を半減しかねないものも、地上輸送機関にはなし得ない緊急性を保障するACの役割の一つであり、書店、出版社、さらにユーザにとっても利益は大きい（表一）。

III. AC輸送の一般的な流れ

国際線のAC業務は大別して、発送業務と到着業務と

表1 ACのメリット（比較）

		SEA MAIL	AIR CARGO	AIR MAIL
雑誌到着までの日数	アメリカ	50日	20日	7日
	ヨーロッパ	80日	40日	10日
価 格	送料のみ	1	5	10
		1	1.5	2.5
未着欠号率		2%	0.1%	0.2%
補 充 対 策		郵便で問い合わせ	現地で確認	郵便で問い合わせ

に分けられる。発送業務は雑誌の集荷から航空機出発まで、到着業務は逆に航空機到着からユーザへの配達までが主たる業務であるが、一般には、その Pre-Care, After Service までは含まれることはないことである。なお、ここでは、ニューヨーク・ケネディ空港及び成田国際空港でのAC取扱いに限定する。

1. 発 送 業 務

1) 集 荷

出版社から刊行された雑誌は、通常、現地の郵便機関により、あらかじめ書店によって指定された場所にあて郵送され、集荷されるが、集荷される場所はおおむね2カ所ある。

A. 現地の書店営業所による集荷

ニューヨーク市内にある書店営業所へ雑誌は郵送され、集荷される。雑誌は専門の書店員にまずチェックされるため、その安全性と精度は高い。集荷された雑誌は提携しているAC代理店、又は混載代理店に引き渡される。

B. AC代理店又は混載代理店による集荷

あらかじめ提携されているAC代理店、又は混載代理店に直接郵送され、集荷される。ニューヨーク市内に現地営業所を持たない書店が利用するものである。

2) 通関及び空港への搬入

集荷された雑誌は、それぞれ計量、ラベリング、包装等を行なった上で、貨物仕立てとなり通関に移される。通関はAC代理店によって作成された運送状（Air Waybill）の照合が主となるが、ニューヨーク・ケネディ空港税関ではコンピュータ処理により、その間の手続きは自動化されており、おおむね30分程度で済む。通関を終えた貨物は航空会社別に区分、積載されて、空港に運送・搬入される。

3) 航空会社による受託及び確認チェック

図-1

税関で搬入許可を受けた貨物は運送状と共に航空会社に持込まれ、受託のための確認チェックが行なわれる。チェックはユーザに最良のサービスを還元するための最終段階での確認となるため、慎重に行なわれる。チェックはラベルに記入された番号、宛先地、梱包状態の確認から、運送状の料金、発行年月日、発行者のサイン等に至るまで、細かく行なわれる。

4) 出発便の準備

受託された貨物は各出発便ごとに予約され、貨物積荷目録 (Manifest) が作成される。

5) 塔載準備と搬出

最終的にチェックをした貨物は、それぞれ宛先別にカート (貨物に乗せるための荷車) に乗せられ、各出発便ごとに税関の搬出許可を待つ。

6) 航空機への塔載

搬出許可のあった貨物は、カートからパレット (貨物を固定する台) に移しかえられ、ビニールカバーをかけナイロンネットでフレーム内にしっかり固定される。あとは離陸を待つのみである (図-1)。

2. 到着業務

1) 航空機からの貨物積卸しと仕分け

航空機が成田空港に到着し、検疫官による簡単な機内検査がすむと、待機していた空港職員により郵便閉袋、旅客手荷物と共に雑誌を含む貨物が取卸され、カートに乗せられ、貨物仕分場へ運ばれる。梱包を解かれた貨物

は、マニフェストにより貨物の照合、確認等が行なわれる。

2) 税関への引き渡し

仕分けを終えた貨物は宛先別にそれぞれ次の様に処理される。

A. 東京宛の貨物

東京で通関を受ける貨物は、ただちに東京 A C シティ・ターミナルへ運送され、一時保管される。

B. 東京以外の国内宛貨物

大阪、福岡、札幌空港行の貨物は成田空港から日本航空 (JAL) が受託して直行するが、その他は羽田空港へトラック輸送され、日本航空、全日空 (ANA) 東亜国内航空 (TDA) で継越される。また、国内他空港乗入れの外国航空会社が成田から直行することもある。

C. 外国への継越貨物

成田空港から、さらに海外へ運送される貨物は、そのまま各航空会社へ引渡される。

3) 通関

貨物の輸入通関は、通常、A C 代理店等が税関に輸入申告することにより始められる。

4) 書店への引渡し

通関を終えた雑誌は、輸入許可証と引き換えに税関から A C 代理店に引渡され、書店に運び込まれる。あとはユーザに配達されるのを待つのみである (図-2)。

図-2

IV. ACの輸入通関

外国から雑誌を積載した航空機が成田国際空港に着陸すると同時に輸入通関業務は動きだす。

1. 貨物の積卸しに必要な手続き

外から貨物を積載した航空機が、成田空港に到着すると、まず、貨物積荷目録 (Manifest) が機長から所管の税関長に提出され、その承認の後、貨物の積卸しが行なわれる。同時に、航空貨物運送状 (Air Waybill) も税関に提出される。

2. 保税地域への搬入

積卸しされた貨物は、保税地域以外に搬入することはできないので、すべて保税地域へ搬入される。保税地域とは関税法の規程によれば、通関手続きの簡易・迅速な処理のために、外国貨物の積卸し、運搬、または保管を行なうために、大蔵大臣又は税関長が指定した一定の場所をいう。なお、搬入の際には、貨物搬入届が税関へ提出される。

3. 輸入申告

貨物が保税地域に搬入されると、ただちに荷受人（一般には、書店と提携したAC代理店又は輸入代行業者）により税関へ輸入申告が行なわれる。輸入申告に必要な書類はおおむね次の様なものである。

- 輸入申告書
- 輸入仕入書 (Invoice)、またはこれに換わる書類
- その他の書類 (国内法令により、輸入制限がある場合)

4. 輸入許可

輸入申告が適法に行なわれ、かつ貨物の検査・確認が済み、輸入申告書の内容と貨物の現物との同一性が確認

されると、いよいよ輸入許可となるわけであるが、雑誌以外の一般貨物はその前に関税を支払わなくてはならない。しかし、雑誌は、それ自体が我国の産業、経済、学術、文化等の振興に資するものであり、早期引取りの要請があること、及び関税率が無税になることも合いて、特別なもの、例えば、関税定率法第21条3項（いわゆるポルノ関係）に抵触する様なものでない限り、即輸入許可となるのが普通である。

5. 保税地域からの引き取り

輸入を許可された雑誌を保税地域から引き取るには、保税地域の係官にあらかじめ税関より発行された輸入許可書を提示し、かつ、貨物搬出届を提出して行なわれる（図-3）。

以上で、ACの輸入通関手続きは一切終了するが、現在では、その手続きの大半はコンピュータにより処理されるため、輸入申告から許可・搬出までの所要時間は、ほぼ1日以内にまで短縮されてきている。

V. 書店によるACの利用

我国において、書店がACを本格的に利用し始めたのは比較的新しく、昭和40年代に入ってからである。

書店が利用するACの特徴は、IATA（国際航空運送協会）加盟のAC代理店、あるいはAC混載代理店との提携により、書店が荷主か、あるいはそれに近い形でAC輸送に直接責任をもっていることである。

流通システムは各書店共、あまり大差はみられないがニューヨークに営業所をもつ書店とまたない書店との間での集荷チェックの精度、あるいは、サービスの重要な要素の一つである週運航回数の方がい等により、微妙なちがいが生ずるぐらいである。洋書輸入協会に加盟する

図-3

図-4

書店によるACの週運航回数は、大手書店で週1便から週4便、それ以外の書店では週1便、あるいはそれ以下の実績になっている。

平均的な書店の流通システムを次に示す(図-4)。

A. 雑誌は郵送により、出版社からニューヨーク市内の書店営業所に送付され、集荷される。

B. 集荷チェックを受けた雑誌は、提携しているAC代理店に引き渡され、貨物仕立てとなる。

C. 通関の後、航空会社に受託される。

D. 航空機に搭載される。ケネディー空港を離陸。

E. 成田空港に到着。東京AC・シティー・ターミナルへ運送され、通関する。

F. AC代理店を経て、書店に引き渡される。

G. 雑誌の予約者に直接、あるいは郵送により配達される。

VI. 出版社によるACの利用

海外の出版社が日本向けにACによるサービスを利用し始めたのは、1973年にイギリスのPergamon Press社がイギリス郵政公社の実施するASPと呼ばれる準航空郵便を利用したのが始めてである。翌1974年にはオランダにおいて、オランダ郵政庁の実施するSALを利用してExcerpta Medica Foundationが同様のサービスを実施している。現在では、この他にアメリカのWilliams & Wilkins社が一部の雑誌を海外新聞普及(QCS)の便を利用して、あるいはデンマークのMunksgaard社が北米向けに、第3のACサービスと呼ばれるSea & Air複合輸送を実施する等、その多様化には目を見はるものがある。

1. ASP (Accelerated Surface Post) の利用

ASPはイギリス郵政公社が1972年より実施した新しい外国郵便サービスで、それは従来外国に数週間もかかっていた送達日数を、わずか2週間以内に短縮するスピードと、経費を最小にして経済性をもつ普通輸送の両面とをかねそなえた航空輸送システムである(表-2)。

ASPの最大の特徴はその集荷システムにある。ASPによって運送される郵便物は、出版社、商社、大学等から大量に差出される郵便物に限定されるが、その集荷は、あらかじめ郵政公社より提供された郵袋、票札等により、利用者である差出者自身の手により、雑誌の郵袋への納入、票札の結付、郵袋の宛先別区分までを行なうことにある。

表2 ASPの所要日数

	A. S. P	SEA MAIL	AIR MAIL
オーストラリア	12~18日	6~8週	4~5日
南アフリカ	11~15	8~12	3~4
日本	8~12	6~7	3~4
アメリカ	10~18	4~6	3~4
インド	11~15	6~12	4~5

ASPの受託から発送までの流通システムは次の通りである(図5)。

- 差出者である出版社自身の手により、集荷を行なう。
- 郵政公社職員により、郵袋は取り集められる。
- 郵袋はロンドン、マンチェスター、グラスゴウの各交換局に到着し、受託される。
- 郵袋は最寄りの国際空港に運送され、通関の上、塔載準備が行なわれる。
- 郵政公社とAC契約している英国航空(BA)により空輸される。

ASPを利用している出版社は、Pergamon Pressの他、BMA(B.M.J.を除く) Academic Press(J.T.B.のみ)等、かなりにのぼっている。

2. MunksgaardによるSea & Air複合輸送

Sea & Air複合輸送とは、海上輸送の低運賃と、航空輸送の迅速性という両者のメリットを結びつけた海空結合の第3の輸送方式である。

Munksgaard Int. Pub.社は“Acta Chemica Scandinavica”を初めとして我々になじみの深いいくつかの

図-5

図-6

雑誌を刊行していて、コペンハーゲンに本拠地をもつ、北欧最大の出版社の一つである。

Munksgaard の Sea & Air 複合輸送サービスは、現在アメリカ、カナダの北米向けに限定されたものであるが、サービスは1974年から、刊行するほとんどの雑誌について継続的に実施され、実績をあげている。

Munksgaard の流通システムは、コペンハーゲンからアムステルダム、そしてニューヨークを結ぶ一連のもので、その集荷から予約者までのシステムは次の通りである(図6)。

- A. 船積みされる雑誌は、Munksgaard の手により梱包、コンテナ化され、コペンハーゲン港へ運送される。
- B. 毎週金曜日午後、通関を終えた雑誌貨物は船積みされ、アムステルダム港へ向けて出港する。
- C. 次週火曜日朝、アムステルダム港に到着、航空会社の手により、税関を通し、外国向保税通過貨物手続きをとり、貨物をスキポール空港にトラック運送する。
- D. 同日夕方、貨物を搭載した航空機は、アムステルダム・スキポール空港よりニューヨーク・ケネディー空港に向けて離陸する。
- E. 翌水曜日午前中に、到着した貨物は通関の後、Munksgaard のアメリカ代理店、Publications Expediting Inc. (New York) に引き取られ、開梱、票付の他、国内郵送諸手続きが行われた後、雑誌は郵便局へ投函され、第二種(2nd Class)郵便により、北米内予約者に郵送される。

1974年以前、Munksgaard は北米内の予約者に雑誌を

送るのに、6週間以上の日数をかけていた。しかし、Sea & Air 複合輸送の採用により、その所要日数は、のべにして14日から3週間以内に短縮され、予約者の好評を博している。

3. KLMオランダ航空によるAC & SAL 複合輸送

SAL (Surface Mail Air Libted) はオランダ郵政庁の実施する準航空郵便であるが、これを従来の航空機によるACサービスとドッキングさせてシステム化しているのが、KLMオランダ航空によるAC & SAL 複合輸送である。

KLMオランダ航空は、早くからAC部門に出版物運用サービスを設置して、主にアメリカからの大量差出し新聞・雑誌を世界各地へ急送するACサービスを実施し、定評を得ている。

従来、アメリカの出版社の多くは、その大量差出し新聞・雑誌の輸送コストと購読者の減少のジレンマに苦しんでいたが、KLMオランダ航空による複合輸送システムの採用により、雑誌を大量購読者のあるヨーロッパ内へまず一括空輸し、そこからオランダ郵政庁の実施する準航空郵便SALによって、世界各地へ分配急送することにより、そのトータルコストの減少に成功している。

KLMオランダ航空による複合輸送の流通システムは次の通りである(図7)。

- A. AC代理店によって集荷された雑誌は、ニューヨーク・ケネディー空港又は、シカゴ・オヘア空港へ運送され、受託される。
- B. 通関を終えた雑誌は搭載され、アムステルダム・スキポール空港に向けて、ただちに空輸される。

図-7

C. スキポール空港内におけるKLM Publications

Handling Service において開梱された雑誌は、出版社から提供された予約者リストにより、個々に包装、ラベリング等が行なわれ、宛先別に郵袋につめられ、郵政庁SAL窓口投函される。

ニューヨークからアムステルダムへは毎日2便、アムステルダムから東京へのSAL便は週3便運航されていて、大変スピーディである。

アメリカの出版知からの雑誌やカタログが、スキポール空港から送られて来るのを見ると、“一体どうなっているのかなあ”と思われている方は多いはずである。日本の予約者から見ると、KLMオランダ航空による複合輸送システムは、一見二重手間をかけている様にみられるが、その実は、アメリカ国内の各出版社から刊行される雑誌を一括集中処理している。きわめて合理的なシステムである。我々になじみの深い“Current Contents”を始めとする有名雑誌の多くが、続々とKLMのシステムにのっていつていることを思うと、この複合輸送システムの果たす役割はきわめて大きい。

VII. ACの利用料金

国際線のAC輸送にかかる料金は、輸送される雑誌の重量によるエア・フライト・チャージが基本となるが、実際に、書店あるいは出版社によって設定されるAC料金は、そのサービスのすべてにかかる諸掛手数料金、例えば、集荷、配達等のサービス料、保険料、通関手数料、梱包、ラベリング等に要する費用等の各要素の加算によって算定されるため、きわめて複雑なものになっている。

1. エア・フライト・チャージ（運賃）

IATAに加盟している航空会社は、個々の運賃を設定することなく、協定された運賃を採用していて、これらは貨物の重量、運送区間、内容品目によって定められている。貨物の重量は、一般的に重量段階が高くなる程kg当りの料金は安くなるようになっているが、雑誌の場合には、通常45kg以下の料金（東京＝ニューヨーク間、kg当り5.49ドル、1.625円）が適用されているようである。また、新聞、雑誌、書籍等は一部の地区間において

表3 書店のAC料金

	巻	重 量	船便による雑誌価格			ACによる追加料金	
			予約価格	誌代	送料	A書店	B書店
ADHESIVE AGE.	21	1.8kg	8,200円	\$15.00	\$8.00	5,500円	7,800円
AMER. JOUR. MEDICINE	64—65	6.8	14,400	24.00	14.00	14,620	23,600
ANNALS OF SURGERY	187—188	6.9	13,300	26.00	9.00	12,900	18,700
JOUR. AMER. MED. ASSO.	239—240	10.5	19,000	30.00	20.00	34,400	38,000
JOUR. BIOL. CHEM.	253	23.8	79,800	200.00	10.00	41,280	96,200
PROC. SOC. EXP. BIOL. MED.	157—159	3.6	24,100	48.00	14.00	14,620	19,400
SCIENCE	199—202	10.8	27,700	65.00	13.00	27,950	35,300
SCIENTIFIC AMERICAN	238—239	4.2	8,360	18.00	4.00	9,030	14,640

* 雑誌は両書店カタログ（1978年）より、共通のものを任意描出

品目分類賃率が設定されていて、45kg以下の一般運賃の50%引きとなる場合がある。これは現在、ニューヨーク＝アムステルダム間（100kg以下、3.81ギルダー、1.4ドル）、その他に適用があり、KLM オランダ航空によるACサービスはまさにこれによるものである。東京＝ニューヨーク間には、現在のところ適用がないようである。

2. 書店によるAC料金

書店が設定するAC料金は、基本的にはエア・フライト・チャージに各種諸掛手数料料金を加算して決定されるが、実際には、サービスされる雑誌の数、量、運航回数等の営業実績が、書店各社によりまちまちのため、その料金も、どのくらいの水準が適性であるかを見きわめるかはきわめてむづかしく、従って、書店各社も公表による企業損失を考えてか、AC料金を非公表にする所が多く、公表されているのは2書店しかない（表一3）。

AC料金はB書店（注書輸入協会非加盟）のほうが、A書店より概して高くなっているが、これは恐らく、諸掛手数料の加算のちがいがからくものと思われるが、ユーザの側において、その内容まで見きわめることは、きわめてむづかしい。しかし、A書店の料金は、雑誌1kg当り平均2,000円になっており、これは、東京＝ニューヨーク間のエア・フライト・チャージ、45kg以下、1kg当り、1,625円と比較してみると、諸掛手数料を入れて、ほぼ書店の利用するAC料金としては妥当なものといえ、ユーザにも好評である。

3. ASPの利用料金と Pergamon Press 社の雑誌価格

イギリス郵政公社の実施するASPの利用料金は、基本的にはASPを利用する出版社等との契約によって定められているが、一般には郵袋1kg当り1.60ポンド（それ以外の場合は、1kg当り1.75ポンド）という格安料金によってサービスされるため、雑誌1冊当りのAC輸送コストは、きわめて安くなる利便さをもっている。当然のこととして、Pergamon Press社のASPにかかる雑誌送料は、一般のAC料金よりも、きわめて格安になっているものと思われるが、その一方において、Pergamon Press社はASPに名を借りた便乗値上げを行なっているといううわさがたえない。実際はどうであろうか（表一4）。

Pergamon Press社の雑誌カタログから、アメリカ向け、日本向け料金を描出、差引きして、雑誌原価、送料を出し単純計算してみただけでも、雑誌1kg当り、平均14.50ドル（約3,100円）となり、書店の利用するAC料金の比較からしても、約1.5倍、ASP本体の料金からすると、諸掛手数料を入れてもなお4倍以上と、かなりの割高になっていることがわかる。ちなみに、SALを利用するElsevier社の場合をカタログからみると、日本向けには船便送料の1.5倍にするとあり、これは雑誌1kg当り、平均18.5ギルダー（約1,900円）になり、Elsevier社の送料は、Pergamon Press社よりはかなり良心的ということができ、その分、やはりPergamon

表4 Pergamon Press 社の ASP 料金

	巻	重量	雑誌価格	誌代	ASP料金	kg.当り ASP料金
ARCHIVES OF ORAL BIOLOGY	22	2.3kg	\$194.40	\$150.00	\$44.00	\$19.10
BIOCHEMICAL PHARMACOLOGY	26	5.2	276.00	200.00	76.00	14.60
COMPUTED TOMOGRAPHY	1	1.2	78.00	60.00	18.00	15.00
HEALTH PHYSICS	32—33	3.6	174.00	125.00	49.00	13.60
IMMUNOCHEMISTRY	14	1.75	134.40	100.00	34.40	19.60
INT. JOUR. APPL. RAD. IS.	28	1.7	132.00	100.00	32.00	18.80
NEUROPHARMACOLOGY	16	1.9	132.00	100.00	32.00	16.80

* 雑誌はカタログ (1977年) より任意描出

Press 社の送料は雑誌価格の便乗値上げにつながっているといわざるを得ない。

IATA運送会議において決定されたエア・フライト・チャージは、各国政府の認可のもとに国際的に適用され、加盟している民間航空会社、AC代理店、あるいは混載代理店によって運用されていく。しかし、1978年7月1日カナダのモントリオールで開かれたIATA総会では、国際線運賃の決め方が弾力化され、関係国の航空会社間のみの合意で、自由に運賃を決められるようになった。そのためか、一般貨物では、最近ホンコンルート等の安いルートを使う例がふえてきているが、雑誌では未だその例をみない。いずれにしても、諸掛手数料金を含めたAC利用料金は、良心的なものでなくてはならないことは、いうまでもないことである。

しめくくり

雑誌の流通に果たすACサービスの伸びは実にめざましい。書店独自によるシステムから、準航空郵便としてのASP、SALを利用するもの、さらに航空会社による複合輸送システムと、その運航形態も様々に特徴を発輝している。1978年7月1日からは、西ドイツにおいても、日本、アメリカ、オーストラリア等向けにSALが実施(表5、6)され始め、近い内にSALを利用する雑誌が多々現われるだろう。そうすると、世界の主要雑誌発行国、アメリカ、イギリス、オランダ、西ドイツの雑誌はACサービスされる事が即可能になり、その重量性はますます高まり、期待されるものは大きい。

しかし、その一方において、ACは雑誌の流通にはかりしれない利便さを与えてくれる反面、その積極的利用とは裏腹に、依然として、もう一つ積極的になり得ない

表5 西ドイツSALの純所要日数

	S. A. L.	SEA MAIL	AIR MAIL
オーストラリア	12日	40日	2日
ブラジル	9	20	1
日本	9	40	2
南アフリカ	9	30	2
アメリカ	5	15	1

表6 西ドイツSALの料金 (10kg当り)

	S. A. L.	SEA MAIL	AIR MAIL
オーストラリア	120.20	23.40	224.20
ブラジル	81.90	20.40	142.90
日本	83.00	23.90	131.00
南アフリカ	74.80	18.40	134.80
アメリカ	71.20	31.00	118.20

* 単位マルク (1マルク：約98円)

何かがあるように思えてならない。利用料金の高さがそれであろう。JAMAをACを利用して購読しようと思う時、そのための追加料金が雑誌価格の2倍近くにもなることを知れば、誰しも二の足をふむのは必定である。

“早く、安く、確実な……※※空輸!” ある書店のキャッチフレーズである。“気軽に、より早く、より安く、より確実に!” ユーザの切なる願いである。

参 考 文 献

- 1) 岩本 博：外国雑誌購入上の諸問題. 医学図書館, 24(3): 123-141, 1977.
- 2) 岩本 博：国内外郵便システムにおける外国雑誌の取り扱い. 医学図書館, 26(4): 151-156, 1979.
- 3) 山崎茂明：外国雑誌未着の現状と流通事情. 医学図書館, 23(2): 97-101, 1976.
- 4) ワールド・エアーカーゴ編：航空貨物マニュアル, 東京, ㈱サンデー, 1978.
- 5) SAL-西ドイツ, 郵政調査時報, 19(3): 54-55, 1978.
- 6) ASP, 郵政調査時報, 14(6): 65-66, 1974.
- 7) 山野辺義方：航空業界, 東京, 教育社, 1977.
- 8) AC市内ターミナルの役割, 季刊おおぞら, 6: 90-103, 1974.
- 9) AC輸送の現状, 経済348: 78-87, 1976.
- 10) AC輸送の1から10まで, 企業と流通, 16: 35-61, 1965.
- 11) ABC AIR CARGO GUIDE. LONDON, ABC TRAVEL GUIDES, FEBRUARY 1979.

◇ 相互貸借マニュアル

相互貸借業務必須のマニュアル。

日本医学図書館協会における申込の手続き（国内，国外），書誌事項の確認，テレックスによる相互利用等を具体的に説明。

サンプル 20枚 付録：各種資料案内

ルーズ・リーフ 1976発行 1977改正 1978再版 1979再版 2刷
¥ 2,800

申込，問合せ先

113 東京都文京区弥生 2-4-16

学会センタービル内

TEL: 03-815-1942

振替：東京6-49585

日本医学図書館協会